

☆ 視点を変えれば、世の中は変わる。



☆ Rethink=視点を変えて考える

ちょっとした問題や課題に出会ったとき、視点を変えて本質に気づくことで、前向きな行動につながります。

Rethink PROJECTは、JTがパートナーの皆さまとともに行う地域社会への貢献活動の総称です。

私たちは、心みたされるよりよい明日の実現に向けて、Rethinkをキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かしながら、地域社会の様々な課題に向き合っていきます。

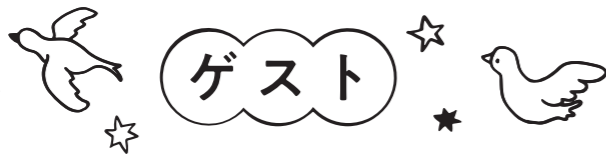


そしてRethinkフォーラムは、地域住民、地域企業、自治体の方々とともに地域社会の課題解決に向けてディスカッションをする場です。

みんなで地域の未来についてRethinkしてみませんか？



「Rethink奈良～日帰り観光からの脱却をめざして～」(奈良新聞社主催、奈良県・奈良市・奈良テレビ放送後援、Rethink PROJECT協賛)が、11月19日に奈良市のJWマリオット・ホテル奈良で開催されました。第一部は、笑い飯哲夫さんがトークショーを行い、第二部では笑い飯哲夫さん、山下真奈良県知事、株式会社narrative代表取締役の大久保泰佑さんを交えて、「Rethink奈良～日帰り観光からの脱却をめざして～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



わらめしでつお
笑い飯 哲夫氏
(お笑いタレント)

演題：哲夫流
新たな視点の見つけ方

1974年奈良県生まれ。関西学院大学文学部哲学科卒業。2000年西田幸治さんと漫才コンビ「笑い飯」を結成。漫才日本一決定戦「M-1グランプリ」の決勝に2002年から9年連続出場し、2010年に優勝。相愛大学文学部客員教授を務めるなど教育活動にも注力。



☆ Rethinkでつながる根っここの部分 ☆

★ 桜井に戻って

一奈良にお住まいですか。
今年4月に、上の娘が小学校に上がったのをきっかけに桜井に戻って来ました。奈良に戻って来て農業をするなど、Rethinkしています。

一どんなところでですか。
昔からの古い村で、近所同士で助け合って生活しています。星の輝きが違います。娘は「月がきれい」と言います。近所には大神神社や山の辺の道などがあります。また檜原神社というのがあって、ここは三つ鳥居です。大神神社も三つ鳥居ですが、こちらは三輪山がご神体で、拝殿から三輪山を拜みます。蕃薯という大きな古墳があって、串苺呼が眠っているという説もあります。

★ 学校時代

一どんなお子さんでしたか。
織田小学校に通ってました。織田信長の弟の織

田有楽齋に縁がある土地ということでした。母の勤めでサッカーチームに入っていました。それで奈良高校がサッカーに強いというので、勉強して奈良高校に進学しました。サッカー部では万年補欠でしたが、練習が終わって駅まで帰るときが大吉利で、一軍も一軍。レギュラーでした。これが「自分って面白い人間なのかな」と思ったきっかけです。

★ 芸能界への道

一なぜお笑い芸人。
大学では教職課程を受講していて、先生になろうかと思っていました。しかし先生だと生徒の前だけで、お笑い芸人になったらメディアで多くの人に発信できると考え、芸人の世界に入りました。M-1グランプリで優勝して、間寛平さんに激励されました。奈良は能や伎楽など、古くから芸能発祥の地ですしね。

★ 多彩な活動

一芸能活動のほかにもさまざまな活動をしてお

れます。
趣味の写経をはじめ、塾の経営や草鞋作り、サーフィン、花火などさまざまなことを手掛けています。これらのことはそれぞれに繋がっていて、漫才のネタになっています。ちなみに大根は茎と根が一体になっていますが、土の中に生まれている部分が根です。いろいろなことをやっていますが、知れば知るほど知らない部分が増えていく。それが根になってRethinkに繋がっていると思います。



テーマ「Rethink奈良～日帰り観光からの脱却をめざして～」

モデレーター

パネルディスカッション出演者 笑い飯 哲夫氏 (お笑いタレント)、山下 真氏 (奈良県知事)、大久保 泰佑氏 (株式会社 narrative 代表取締役)、小池 重二氏 (奈良テレビ放送 報道担当シニアアドバイザー)

奈良とのかかわり

小池 自己紹介をお願いします。
山下 弁護士でしたが、生駒市長を9年間務め、昨年の5月に奈良県知事に就任しました。初の民間出身、日本維新の会出身の新しい知事として、Rethinkの原点と思っています。
大久保 奈良県を中心に歴史的建造物、いわゆる古民家を使ったまちづくり事業を展開している株式会社narrativeの代表取締役です。茨城県のつくば市に住んでいて、毎週通ってきています。
哲夫 奈良国立博物館の文化大使を務めています。

奈良県観光の現状

小池 奈良県の観光の現状と県の取り組みについて。
山下 奈良県は本年5月、奈良県観光戦略本部を立ち上げました。令和元年の観光客は約4502万人ですが、宿泊客は約273万人で、全国都道府県中46位でした。奈良県観光の特徴は「安い」「浅い」「狭い」です。「安い」は1人当たりの観光消費額が全国平均約9900円に対して約5300円、「浅い」は日帰りが多い、「狭い」は周遊先が大仏殿と奈良公園周辺に限られており、奈良の奥深さを知らない。奈良ファンを増やしていくことが課題で、そのために民間の知見を活かしていくことが必要です。とりわけ奈良県への観光は、修学旅行だけではなく、個人客に訴求することが大切です。
奈良県観光戦略本部は、本部会議のほかにも部会を置いています。1つは近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア、2つ目は平城宮跡周辺エリア、3つ目は中部エリア、4つ目は南部・東部エリアで、それぞれの土地の魅力を活かしてブラッシュアップしていくことが課題で、抽象的・絵的な対

策では効果がありません。ツールとしてはSNSを活用していくようにしたいと考えています。

いかにアプローチするか

小池 知事のお話を受けて如何でしょう。
哲夫 小学生が東大寺などに来ますが、年齢的に少し早いのでは。奈良の歴史や文化財について予習して来れば良いと思います。
大久保 narrativeは古民家の再生事業を展開していますが、文化観光、生活観光ということを重視しています。つまり奈良の「根っこ」にあるものを大切にして、観光の切り口として活かしていくようにしています。それがないと商業主義になってしまいます。

奈良県の観光施策

小池 奈良県の観光振興施策は。
山下 4つの部会での議論をまとめると、奈良市中心街については夜の観光の充実です。その場合、奈良らしさ、早朝の静寂などを重視する必要があります。また外国人の接客にはキャッシュレス決済を整備すること、スムーズに移動できる交通の整備が必要です。
平城宮跡周辺エリアについては、薬師寺や唐招提寺も含めて、参道や周辺にお店がない。これは中部エリアの法隆寺にも共通することです。また宿泊施設についても、橿原市や明日香村でできてきてはいますが、まだまだ少なく今後の課題です。南部・東部エリアについては、全体として交通の便が良くない。これらの観光地の客観的な状況については「地域カルテ」を作成するとともに、観光に関するデータ

をホームページで公開する予定です。交通手段としては、JR西日本の万葉まほろば線・和歌山線・大和路線がループ状で繋がっています。東京の山手線のようにグルッと一周する電車ではありませんが、奈良県と地域団体の働きかけでJR西日本に周遊バスを発行していただくことになりました。酒蔵試飲を盛り込むなど、ローカル線を活用した交通手段確保に努めています。
大久保 narrativeでは奈良最古の醤油蔵だった「マルト醤油」の復活、御所市の銭湯「宝湯」の再生、若草山の古民家を活用したオーベルジュ、今井町の古民家を活用したガストロノミーの展開など、地域の食文化を提供する事業を、黒子として取り組んでいます。また南都銀行さんにファンド運営会社「奈良古民家まちづくりパートナーズ」を組成し、地元の金融機関にも参画していただいています。いずれも地域に根を張った取り組みの中から、古いものと新しいものを繋いでいく仕事に取り組んでいます。
山下 民間でそのような取り組みをしていただいていることは、ありがたいことです。行政はこのような取り組みは苦手。古民家の再生を通じて付加価値をつけている点が良いと思います。奈良県としては、これまでは新築のみが対象であった宿泊施設立地に対する補助金を、古民家の改修などにも使えるように今年度から制度を見直しました。優遇税制や利子補給などの支援メニューもあります。また東京での集客PRの一環として、吉野山の金峯山寺の蔵王権現をPRするイベントを有償で行い、満員の盛況でした。また外国人観光客には特設サイトや大阪・関西万博でのキャンペーンを行います。



山下 真氏



大久保 泰佑氏

